

知事との県民対話集会（根羽村）概要

- ・開催日時 令和4年12月1日（木） 午後2時30分から午後4時まで
- ・会場 根羽村役場 やまあいホール
- ・参加者 県民40名、大久保根羽村長、阿部知事、丹羽南信州地域振興局長
- ・テーマ 官民協働 ～官民協働による地域づくり～

・主な発言（要旨）

【参加者】

・小規模自治体は職員数が少なく、一人ひとりの役割が多い。本来は、役場が村内のコミュニケーションの橋渡し役をやるべきだが、国や県への報告業務が多くてできない。

【知事】

・法律上決まっている業務だけで相当力を取られるので、もっと地方分権しないといけない。
・県職員も県民と対話し、一緒に考えるべきと思っている。行政だけでできることは少なく、対話と共創の県政を進めていきたい。

【参加者】

・南信州にリニアが通り、人が増える可能性がある時に、南信州全体のエリアブランディングに力を入れてほしい。
・ブランディングの話などは、早い段階から民間を巻き込んでほしい。行政でまとめると重要な部分が抜けたり、行政目線に寄ってしまう。行政と民間の境目を曖昧にしてほしい。

【知事】

・農山村地域のブランドを高めるようにしていきたい。
・官民協働の実質化は非常に重要。行政側の発想を変える必要がある。

【参加者】

・県民参加型予算は、提案者が言及できなかった部分も汲み取ってトライアンドエラーさせるなど、プロセスを見直してほしい。

【知事】

・現在試行中のやり方が絶対ではない。皆さんのご意見を踏まえて改善していきたい。

【参加者】

・この地域は、小規模な農家がいろいろな野菜を多品目に作っていて、それが地産地消につながっている。さらに商品価値を高め、観光や体験農業を含めた販路の開拓を進めるため、近隣町村を含め農家の横のつながりを強化し、地域や南信州のブランディングを県外に発信していくことが必要と考える。

【知事】

・何を作りどこに売るか、どういう体制でやっていくかなど、地域の状況に応じて考えていかないといけない。
・南信州は、三遠南信自動車道やリニアで県内では最も大きく変わる地域。ブランドは皆さんの感覚で作り上げていかないと難しい。若手農家のネットワークなどに参加してもらい、一緒に考えたい。

【参加者】

・新規就農者には国の補助制度や研修等充実してきているが、就農後の農家にとって、地域全体の目標があるとモチベーションになる。

【知事】

・目標を共有することは協働する上で不可欠。対話をしながら作り上げていくことが必要。

【参加者】

・商品を県外に出荷しようとしても、出荷先の県の県産品が優先的に採用されることがある。競争できるサポートや制度があると助かる。

【知事】

・当県でも同様な条件を付すことがある。非常に重い問題。他県では長野県の事業者が弾かれる可能性があることを意識しながら考えるようにしたい。

【参加者】

・新しい事業を行おうとしたとき、窓口が複数の省庁に分かれていたり、森林組合は中小企業ではないため経済産業省から相手にされなかったりした。縦割りの壁が厳しい。

【知事】

・具体的に困っていることがあれば、一緒に対応を考えたい。

【参加者】

・国や県からの調査・照会は、小規模自治体には該当しないことも多いので、作業が省略できるような工夫をしてほしい。
・県のいろいろな部署から同じような照会が来ることがある。縦割りの改革を県でも行ってほしい。

【知事】

・どういう改善ができるか考えたい。具体的なものがあれば教えてほしい。

【参加者】

・役場の職員が地域の担い手として活躍できるよう、兼業・副業の体制づくりを県もサポートしてほしい。

【知事】

・公務員も許可を得れば兼業できる。県では社会貢献職員応援制度もあるので参考にしてほしい。

【参加者】

・飯田創造館が閉館になるとのこと。その経緯を聞きたい。

【知事】

・飯田創造館は、多くの皆さんに利用され、存続を願う方がいるのは承知している。一方で、南信州地域の皆さんから運転免許センターの設置を強く要望され、検討の結果、風越公園の場所が選定された。
・飯田創造館は閉館せざるを得ないので、地元市町村と連携して、利用者の活動が継続できるよう、話し合いをしている。ご理解をいただければありがたい。

【参加者】

・木材利用をもっと進めたい。木の糸コンソーシアムでは、セルロースを作るのが課題となっている。県には、産業として捉えてもらえるとありがたい。

【知事】

・セルロースの抽出を山梨県でやっているとお聞きした。県内でできないか、検討の際にはご協力いただきたい。

【参加者】

・上流域で整備された森林資源を下流域で使ってもらおう枠組みを作りたい。矢作川流域には5つの森林組合がある。「流域産材」という概念ができないか。

【知事】

・矢作川流域の皆さんのつながりは強いので、愛知県側の人も含めて地域の声として上げていくことはできないか。長野県は8つの県に囲まれ、県境をまたいだ連携は重要だと思っている。奥深い問題なのでよく考えたい。